

Photo Hikari

フォト 光 2005

光る個性 地域の和 人と自然にやさしい生活創造都市





新コースで「光市駅伝競走大会」を開催

新「光市」誕生記念の「第50回光市駅伝競走大会」を1月9日に開催しました。大和総合運動公園をスタートとする新コースで行われたこの大会には、134チーム950人が参加。寒さを吹き飛ばす選手の走りに、多くの市民が沿道で声援を送りました。



新春特別文化講演会

1月23日、瀬戸内寂聴氏と日野原重明氏を招き、新市誕生記念の新春特別文化講演会を開催しました。会場には約1400人という過去最高の観客が押し寄せ、合わせて175歳という二人のお話が終わると、会場は割れんばかりの拍手に包まれました。



むろづみ緑十字清掃大作戦

室積海岸全域で毎年開催されている「むろづみ緑十字清掃大作戦」が2月27日に行われました。歴史ある美しい海岸松林を未来に引き継ぐために、約1300人の地域住民が参加し、空き缶や落ち葉など熱心に拾い、清掃後、海岸はすっかり綺麗になりました。



「同和行政の総括」を答申

2月1日、市の諮問機関である「光市隣保館運営等審議会」から市長に本市の「同和行政の総括」についての答申が行われました。「基本的人権の尊重」という普遍的な視点に立ち「人々にやさしいまちづくりの推進」と「人権が尊重された地域社会の実現」に向けて今後もしっかり取り組むことが確認されました。



1月

- 1日 ▼元旦早朝登山
- 7日 ▼光市消防出初式
- 9日 ▼光と大和の駅伝を統合し新コースで「光市駅伝競走大会」を開催
- ▼光市成人のつどい



2月

- 1日 ▼光市隣保館運営等審議会が「同和行政の総括」を答申
- 6日 ▼第18回梅まつり（3月6日まで）
- ▼「全国家庭教育フォーラムやまぐち大会」が光市で開催される
- 17日 ▼光文化協会・大和町文化協会合併調印式
- 19日 ▼第26回光市青少年健全育成推進大会



光警察署室積交番が開所

建物の老朽化により建替を行っていた光警察署室積交番が完成し、3月17日に開所式が行われました。白壁をイメージした外壁と和風瓦の外観で、駐車場、応接コーナー、外来者用トイレも設置されました。



石城山青少年宿泊訓練所が閉所

3月31日、山口県石城山青少年宿泊訓練所が閉所式が行われました。この施設は、昭和34年に設置されて以来46年間で62万人あまりの研修生が訓練を行ってきましたが、老朽化等に伴い、その役割を終えることになりました。



牛島朝市

2年に一度開催される「牛島朝市」が3月26日に開催され、多くの参加者が恵まれた海の幸を求めて島に訪れました。参加者はサザエやイカの炭火焼や、ひじきご飯、小魚のハンバーグなどおいしく食べながら、牛島の自然を満喫しました。



3月

- 22日 ▼市長と語ろう青少年のつどい（大和中学校）
- 24日 ▼光市スポーツ優秀選手表彰式
- 25日 ▼光富士白苑デイサービスセンター竣工式
- 27日 ▼むろづみ緑十字清掃大作戦
- 12日 ▼第2回「ねこふんじやつた」をスタインウェイで弾こう
- 13日 ▼第24回藤公の里マラソン大会
- 17日 ▼第20回市民コンサート
- 17日 ▼光警察署室積交番開所式
- 17日 ▼光市小中学校PTA連合会・大和町小中学校PTA連合協議会合併調印式
- 26日 ▼牛島朝市
- 27日 ▼平成16年度誕生記念植樹
- 29日 ▼災害対応特殊救急自動車
- 30日 ▼新「光市観光協会」合併調印式
- 31日 ▼石城山青少年宿泊訓練所閉所式
- ★ 光市次世代育成支援行動計画「ひかりっ子未来プラン」を策定

第20回市民コンサート

3月13日、市民ホールで第20回市民コンサートを開催しました。今年は市民を中心に20組、約220人が参加。ピアノやヴァイオリン、フルートなど、それぞれレベルの高い純音楽を披露しました。プログラムの最後は、参加者と来場者約200人によるベートーベンの「歓喜の歌」の大合唱で締めくくりました。





市立図書館大和分室がオープン

4月1日、大和支所の新館1階が「光市立図書館大和分室」としてオープンしました。床面積235㎡、約1万4000冊の蔵書があり、市立図書館との相互貸出も可能です。施設の愛称も公募により「あじさい文庫」に決まりました。



大和公民館がスタート

大和地域の社会教育・生涯学習の拠点として「大和公民館」がスタートし、4月9日、開館式を行いました。初代公民館長には日野哲二さんが就任。地域と連携して「楽しい・ためになる・頼りになる 公民館」を目指しています。



病後児保育事業がスタート

5月6日から「病後児保育事業」を開始しました。これは、病気の回復期で集団保育ができない児童を一時的に預かり保育するもので、市が梅田病院に業務委託。同病院内に病後児保育所「LOVING HUG」がオープンし、看護師と保育士の2人体制で運営されています。



2005光まつり

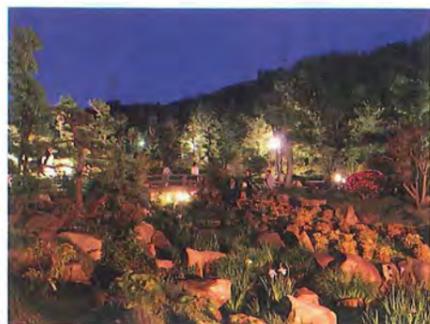
5月21日から22日にかけて、新「光市」として初の光まつりが開催されました。21日の前夜祭には、ダンスパフォーマンスやライブが、また、22日には市民総出のパレードや各種催しなどがあり、大幅にリニューアルされたまつりは大いに盛り上がりました。特に呼び物のパレードには21団体756人も参加があり、沿道の観客の歓声を浴びていました。



藤公と蛍の里つかり

「ホタル鑑賞祭り」

5月28日、伊藤公記念公園付近で「ホタル鑑賞祭り」が行われました。これは、ホタルが乱舞する東荷地区の自然を守るため、「東荷ゲンジボタル同好会」が平成15年から行っているものです。特設ステージで行われたコンサートの音色と幻想的に舞うホタルの光が見事に調和し、訪れた人々の心を癒していました。



第3回しょうぶ祭り

5月28日～6月5日、冠山総合公園で「第3回しょうぶ祭り」を開催しました。園内せせらぎ水路には、約2500株の菖蒲が美しい花を咲かせ、鮮やかな彩りが、来園者の心を和ませてくれました。

県内3番目の景観行政団体に

6月1日、光市は国の景観行政団体の指定を受けました。景観行政団体とは、景観計画の策定など良好な景観形成のための具体的な取り組みを行う団体で、光市は萩市、宇部市に次いで県内3番目の指定団体。これを新たな契機として、美しい自然景観や町並みを後世に残すためのまちづくりに、市民と行政が一体になって取り組みます。



地域づくり市民企画講座が始まる

共創・協働の地域づくりを目的とした「地域づくり市民企画講座」が、6月11日から始まりました。この講座は、公募で選ばれた「市民プランナー」が企画・運営するもので、第1回講座のテーマは「青田の棚田&まほろばの里を訪ねて」。参加者の皆さんは、棚田の視察やワークショップなどを通して、自分たちの住む地域に目を向け、魅力的な地域づくりについて考えました。



4月

- 1日 ▼市立図書館大和分室開所式
- 9日 ▼大和駐在所の管轄が平生警察署から光警察署に移管
- 20日 ▼大和公民館開館式
- 24日 ▼光市連合婦人会設立総会
- 28日 ▼牛島えびす祭り
- 29日 ▼国勢調査光市実施本部を設置
- ▼冠山総合公園市民梅木植樹



5月

- 6日 ▼光市病後児保育所「LOVING HUG」開所式
- 7日 ▼光市海岸松林災害復旧促進会議を開催
- 21日 ▼ふれあい看護のつどい
- 28日 ▼2005光まつり(22日まで)
- ▼第3回しょうぶ祭(6月5日まで)
- ▼藤公と蛍の里つかり「ホタル鑑賞祭り」

6月

- 1日 ▼「光市地域づくり推進会議」を設置し、第1回会議を開催
- 2日 ▼「景観行政団体」に指定される
- 2日 ▼防災パトロール
- 5日 ▼2005日本列島クリーン大作戦
- 11日 ▼第10回水道まつり
- ▼地域づくり市民企画講座が始まる
- 12日 ▼市立図書館大和分室の愛称が「あじさい文庫」に決定し、表彰式を開催
- 17日 ▼あじさい祭り(19日も)
- 17日 ▼光市民憲章制定委員会を設置し、第1回会議を開催
- 25日 ▼小さな親切運動山口県本部・光支部設立25周年記念推進大会が開催される
- 29日 ▼「光市地産地消プラン推進会議」を設置し、第1回会議を開催
- 30日 ▼市議会が「おっぱい都市宣言」が採択される

★

春の叙勲で秋友幹夫さんが旭日小綬章、末岡毅さんが瑞宝双光章を、春の褒章で西田幸三さんが黄綬褒章を受章



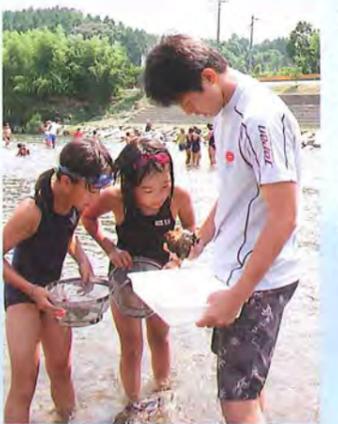
ファミリー・サポート・センター事業がスタート
7月1日、「光市ファミリー・サポート・センター事業」がスタートし、同日に開始式を行いました。この事業は、育児の援助を受けた人「依頼会員」と育児の援助を行いたい「協力会員」が会員となり、地域で子育てを支え合う相互援助活動を行うものです。地域での子育て支援機能を強化し、育児と仕事が両立できる環境の整備を目指しています。

海水浴安全祈願祭、海開き

7月16日、海開きとなったこの日、本格的な海水浴シーズンを前に、虹ヶ浜海水浴場で海水浴の安全とシーズン中の賑わいを願い「海水浴安全祈願祭」を行いました。室積・虹ヶ浜の両海水浴場は、7・8月で約25万人が訪れ、賑わいを見せました。



親と子の水辺の教室



教室には、児童約70人が参加し、熱心に島田川から水生生物を採取しながら、水質環境の変化と自然環境保護の大切さを学びました。

7月25日、立野旭橋付近の島田川で、市環境保全課職員の出前講座による「親と子の水辺の教室」を行いました。この



おっぱいまつり

8月7日、あいはらく光で、新市発足後初めてとなる「2005おっぱいまつり」を開催。会場では、育児相談や園に関する相談、禁煙相談コーナーのほか、6月議会で新たに採択された「おっぱい都市宣言」を紹介するコーナーも設けられ、小さい赤ちゃんからお年寄りまで、多くの市民で賑わいました。

救護施設「石城苑」が民間施設に

8月8日、市と社会福祉法人松風会との間で、石城苑の移管に関する協定調印式を行いました。その後、9月議会で関連条例の廃止、改正などの手続きを行い、10月1日をもって石城苑を松風会に移管しました。



周防柱松

周防柱松保存会による、ふるさとの火祭り「周防柱松」が7月31日に開催されました。これは、高さ10～20mの柱松に火のついた松明を投げ入れる独特な祭りです。約250年前に疫病退散のために始まった伝統行事です。光市を代表する夏の風物詩とあって、多くの見物客や写真愛好家が訪れ、夏の夜を彩る光の祭典は大いに盛り上がりしました。



光市まちづくり市民協議会を設置

市民と行政との「共創・協働」によるまちづくりを進めるため、「光市まちづくり市民協議会」を設置し、8月31日に第1回目の会議を開きました。45人の委員の皆さんは、当面、新市のまちづくりの指針となる新「総合計画」の策定に参画。故郷の明るい未来を築くため、白熱した議論が展開されます。



光ふるさと郷土館入館者10万人突破
平成5年にオープンした光ふるさと郷土館の入館者が8月17日に10万人を突破し、10万人目となった塩川博さん（大阪府和泉市から帰省中）に、館長から記念品が贈られました。



8月

- 4日 ▼島田人形浄瑠璃芝居奉納上演（5日まで）
- 5日 ▼「自然敬愛に向けたまちづくり講演会」を開催
- 6日 ▼スターライトファンタジーin虹ヶ浜（13日まで）
- 7日 ▼黒杭柱松
- 7日 ▼虹ヶ浜海岸で「光花火大会」と「ひかり未来航海2005」が開催される
- 8日 ▼2005おっぱいまつり
- 8日 ▼「石城苑」民間移管協定調印式
- 10日 ▼光市人権を考えるつどい
- 17日 ▼光ふるさと郷土館入館者10万人突破
- 19日 ▼「アスベスト対策庁内連絡会議」を開催
- 20日 ▼平成17年度光市戦没者追悼式
- 30日 ▼ひかるくんと学ぶ防災スクール24時（31日まで）
- 31日 ▼「光市まちづくり市民協議会」を設置し、第1回会議を開催

7月

- 1日 ▼光市ファミリー・サポート・センター事業を開始
- ▼虹ヶ浜海岸で「渚のライトアップ」始まる（8月31日まで）
- 3日 ▼ワークショップ人形作り
- 10日 ▼光市農業委員会委員一般選挙
- 11日 ▼海外派遣事業合同壮行会
- 16日 ▼海水浴安全祈願祭、海水浴場海開き
- 19日 ▼光市観光協会・錦町観光協会姉妹組調印式
- 23日 ▼医療法人愛命会大田病院竣工式
- 24日 ▼第14回サンドアートin光
- 24日 ▼冠山総合公園第4回スケッチ大会
- 25日 ▼英語指導助手「タミー・ユー」さん着任
- ▼親と子の水辺の教室
- 30日 ▼サマーフェスタ2005
- ▼室積わいわいフェスタ
- 31日 ▼周防柱松





山口型放牧始まる

畜産農家から牛を借り入れ、耕作放棄地へ放牧する「山口型放牧」が、9月1日から周防下小周防の農地で始まりました。これは、畜産農家の低コスト化や耕作放棄地の解消のため、山口県が全国に先駆けて始めたもので、現在、県内では約160か所で行われています。



地産地消はお米から

10月14日、光ブランドの水稲品種の開発を目指す市が周防多目的集会所で光ブランド米候補「山口6号」の試食会を開きました。このお米は、JA周南が周防地区の水田で試験栽培していたもので、行政関係者など約40人が用意されたおにぎりを頬ばり、味や粘りなどをチェックしました。



地域景観の素晴らしさを再発見

10月15日、室積地区で「地域景観ワークショップin光」を開催しました。これは、6月に県内3番目の景観行政団体に指定されたことを受けて、県との協働により行ったものです。地区内の散策やワークショップを通じ、室積地区の魅力的な風景や町並みなど、地域の景観資源を再発見でき、景観に対する関心が高まりました。



浅江クリーンアップ

台風14号がもたらした大量の流木やごみのため、白砂の虹ヶ浜海岸は見るも無残な姿に。この窮状に、地元の浅江連合自治会がたちあがり、9月23日、地域ぐるみの「浅江クリーンアップ」が行われました。当日は、約1200人のボランティアが参加し、約1時間後には、清掃車両約4台分ものごみが回収されました。



新市誕生1周年 新「光市民憲章」と「市の木・市の花」を発表

10月2日、多くの市民の皆さんとともに新「光市」誕生1周年を祝う記念式典を開催し、新「光市民憲章」と「市の木・市の花」を発表しました。新しい市民憲章を市民生活の規範として、具体的な実践活動を進めるとともに、市の木（クロマツ）、市の花（ウメ）の決定を機に、さらに快適で潤いのあるまちづくりを進めます。



第1回光市文化祭

新「光市」の誕生1周年を記念した「第1回光市文化祭」を、10月25日から市内各地で開催しました。美術や芸能、文芸など幅広い市民芸術の祭典に数多くの市民が参加し、日頃の成果を発表しました。



健康ウォークin冠山総合公園



10月30日、冠山総合公園で「健康ウォークin冠山総合公園」を開催しました。これは、生活習慣改善啓発の一環として、正しい歩き方をマスターし、健康効果をアップしてもらおうと企画したものです。冠山総合公園内のウォーキングコースを歩いた皆さんは、すっかりリフレッシュした様子でした。

9月

- 1日 ▼百歳以上の長寿者を市長と市社協会長などが訪問
- ▼周防で「山口型放牧」を実施
- 3日 ▼第21回光市実年・熟年・青年団のコンクール
- 4日 ▼第45回光市子ども会大会
- ▼2005ふれあい・健康フェスティバル
- 6日 ▼台風14号によって被害を受ける
- 11日 ▼衆議院議員総選挙投票日
- 15日 ▼宝くじ文化公演「中村雅俊コンサート」
- 17日 ▼大和地区敬老会



- 18日 ▼名月と邦楽の夕べ
- 20日 ▼花壇コンクール本審査
- 23日 ▼浅江クリーンアップ
- 28日 ▼「光市自然敬愛推進検討委員会」を設置し、第1回会議を開催

10月

- 1日 ▼大和町史第2巻（現代編）を発刊
- 2日 ▼新「光市」誕生1周年記念式典
- 9日 ▼「光市民憲章」および市の木「クロマツ」・市の花「ウメ」を制定
- ▼まちづくりシンポジウム「発見！ひかり未来予想図」
- 10日 ▼早長八幡宮秋祭り
- 14日 ▼第33回市民体育大会
- 15日 ▼光ブランド米試食会
- ▼地域景観ワークショップin光
- 16日 ▼大和公民館体育大会
- 22日 ▼光市再発見、みんなで見よう！第3回市民ツアー（23日も）
- 23日 ▼第13回光市国際交流のつどい
- 25日 ▼第26回潮音寺山まつり
- ▼第1回光市文化祭が始まる（美術展・芸能祭・文芸祭）
- 30日 ▼第3回消防まつり
- ▼健康ウォークin冠山総合公園
- ★ 危険業務従事者叙勲で山田明さんが瑞宝双光章、吉田最次さんが瑞宝単光章を受章

教育開発研究所が
「二学期制の導入について」の報告書を提出

光市教育開発研究所は、二学期制へのスムーズな移行を求める報告書をまとめ、12月1日に教育委員会に提出しました。この提言を受け、教育委員会で検討した結果、4月から二学期制がスタートすることになりました。



第1回青少年問題協議会
12月27日、教育委員会で青少年問題協議会を開催し、児童・生徒の安全対策、安全確保に関するさまざまな取り組みについて、検討・協議を行いました。この結果、今後、児童・生徒の安全確保のさらなる強化に向け、地域と行政が協力して取り組んでいくことを確認しました。



岩田駅前サンタフェア
12月17日、岩田駅前商店会が初めて企画した「岩田駅前サンタフェア」が開催され、子どもから大人までがゲームやもちつきを楽しみました。通りに繰り出した31人のサンタクロースの中には、かわいいサンタさんもあり、ひときり注目を集めていました。



消防団の年末夜警

12月29日深夜から翌30日未明にかけて、市内各地で消防団が年末夜警を行いました。消防団は市内12分団で組織されており、光市の安全・安心の砦として、昼夜を分かたず献身的な活動を続けています。この夜も、厳しい冷え込みの中、火の用心を呼びかける声が、いつまでもこだましていました。



29日 開催
▼市内各地域の消防団が年末夜警を実施（30日）



27日 開催
▼光市青少年問題協議会を開催

23日 灯式
▼親子しめ縄づくり

19日
▼演劇公演「夕空暗れて」

17日
▼手づくりロウソク教室

11日
▼岩田駅前サンタフェア

4日
▼潮音寺山ライトアップ

12月
1日
▼光市教育開発研究所が「二学期制の導入について」の報告書を提出

4日
▼冠山総合公園イルミネーション点灯

30日
▼冬鳥をたずねる会



第25回ふるさとまつり
IN YAMATO

11月6日、大和総合運動公園で「第25回ふるさとまつり IN YAMATO」が開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、室積出身の歌手あさみゆきさんによる歌謡ショーや大人気のちびっ子歌謡ショーなどで、会場は大いに盛り上がりました。



生産者と消費者の心のふれあい
「ルーラル・ゆうゆう・フェスタ」

11月12日、朝市イベント「ルーラル・ゆうゆう・フェスタ」が、冠山総合公園とふらっと大和の2会場で開かれました。両会場とも、地元で取れた新鮮な野菜や海産物、果物や加工品など、生産者の顔が見える多彩な地産品が所狭しと並べられ、訪れたお客さんは、ビニール袋いっぱい買い込んでいました。



プレ国民文化祭
「人形劇&パネルシアターフェスティバル」



11月27日、市民ホールなどを会場に「人形劇&パネルシアターフェスティバル」を開催しました。これは、国民文化祭で行われる「ひかり全国人形劇フェスティバル」のプレ企画として開催したもので、子どもたちは、目の前で繰り広げられる人形劇の世界に夢中で見入っていました。11月4日と5日のフェスティバル本番が、今から楽しみです。

11月4日と5日のフェスティバル本番が、今から楽しみです。

「光大橋」が開通
浅江と島田を結ぶ「光大橋」が完成し、11月21日に開通記念式典を開催。テープカットや地域の皆さんによるアトラクションなどの後、両地区の三世代家族を先頭に「通り初め」を行い、橋の完成を祝いました。



11月
6日
▼第25回ふるさとまつり IN YAMATO

8日
▼こも巻き

11日
▼災害時等における協力態勢に関する協定書調印式

11日
▼光市老人クラブ連合会健康フェスタ

12日
▼ルーラル・ゆうゆう・フェスタ

13日
▼光市消防団大防火ぎょ訓練

21日
▼光大橋開通式

23日
▼第10回ひかり物産まつり

25日
▼PFIに関する研修会

26日
▼第6回光さかなまつり

27日
▼プレ国民文化祭「人形劇&パネルシアターフェスティバル」

30日
★「光市防災会議」を設置し、第1回会議を開催

4日
▼秋の叙勲で竹中昭二さんが旭日双光章、佐藤弘さんが瑞宝小綬章を受章



フォト光 2005
Photo Hikari

【表紙の写真】

8月6～13日に、「スターライトファンタジーin虹ヶ浜」を開催しました。二度目となる今回は、新市住民の一体化と賑わいの場の創出の視点からイベント内容をさらに充実。「ナイター海水浴」や「噴水と光と音のショー」、野外ライブに加え、8月7日の「光花火大会」や、7～8月の「渚のライトアップ」など多彩な催しで、多くの人々を魅了しました。

■「フォト光」は、広報ひかりで紹介しました光市の一年間の出来事等を、写真を中心に編集したものです。

編集・発行／光市秘書広報課

〒743-8501

山口県光市中央6丁目1-1

TEL 0833-72-1400 (代)

FAX 0833-72-1436

<http://www.city.hikari.lg.jp>

印刷／中村印刷株式会社